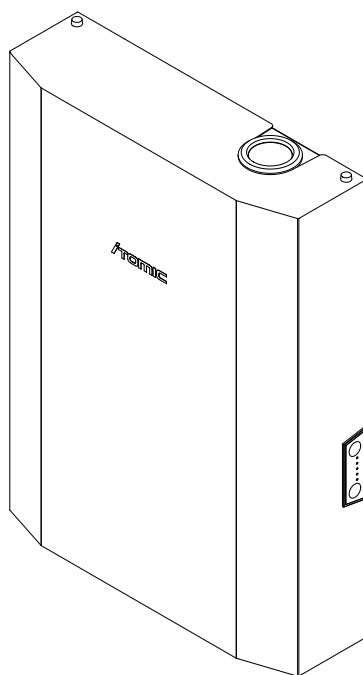


工事要領・取扱説明書

製品名： 電気瞬間湯沸器

型式： EIZ- 3101,3150,3200,3300,
3400A0



このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書を事前によくお読みにになり、理解した上で設置、ご使用ください。
設置工事（試運転）後は、必ず本書をご使用になる方にお渡しください。
本書は、いつでもご覧になれるよう所定の場所に保管してください。

※この工事要領・取扱説明書に記載されている事項を守らずに発生した事故について、弊社は一切責任を負いません。

もくじ

共通項目	2
安全上のご注意	3
EIZについて	5
各部名称	5
仕様	6
工事要領	8
施工前にご確認ください	9
1. 部品の確認	9
2. 設置場所の確認	10
施工する	11
1. 設置工事	11
2. 電気工事	12
3. 配管工事	13
4. 試運転を行う	14
5. 施工後の確認	15
取扱説明	16
使用方法	17
1. 使用前の準備と確認	17
2. お湯を出す／お湯の温度を調整する	17
3. 設定温度を変更する	18
4. ランプの点灯状態	18
お手入れの方法	19
保守点検項目と実施の目安	19
安全弁の動作確認	19
凍結による破損防止について	20
長期間使用しないときは	20
外装の清掃	21
こんなときは	22
故障かな？と思ったら	22
停電後の対応について	24
アフターサービス	25
消耗品について	25
補修用性能部品について	25
メンテナンス契約について	25
修理をご依頼の際には	25



共通項目



安全上のご注意

本書にはお客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、お守りいただく事項を記載しています。設置の前に、必ず本書をお読みにになり、内容をよく理解された上で設置してください。製品引き渡しの際は必ず本書をご使用になられる方へお渡しく下さい。





警告表示の意味


本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を、次の2つのレベルに分類しています。



	警告 この表示の欄は、『死亡または重傷を負う可能性』が想定される内容です。
	注意 この表示の欄は、『傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性』が想定される内容です。

	<ul style="list-style-type: none"> ○の記号はしてはいけない行為(禁止行為)を示しています。 ○の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。(左図の場合は『分解禁止』)
	<ul style="list-style-type: none"> ●の記号はしなければならない行為(強制行為)を示しています。 ●の中に、具体的な指示内容が描かれています。(左図の場合は『アース工事を確実にを行うこと』という指示です。)

重要事項:必ずお守りください

 警告	
	<p>アース(D種接地)工事を確認してください。 アース工事がされないと故障や漏電発生時に感電するおそれがあります。</p>
	<p>定格電圧でお使いください。一時変動がある場合には±10%以内の環境でお使いください。 故障、火災の原因となります。</p>
	<p>必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。 万一の故障等による漏電発生時に感電、火災のおそれがあります。</p>
	<p>結線部は正しく、ゆるみがないように配線作業をしてください。 発火、感電の原因となります。</p>
	<p>給湯側の配管途中に必ず安全弁(付属品)を取り付け、動作を確認してください。 万一の不動作で、破裂、漏水、故障のおそれがあります。</p>
	<p>絶対に改造はしないでください。 火災、感電、やけど、故障やケガの原因となります。</p>
	<p>屋外に設置しないでください。 感電、故障の原因となります。</p>
	<p>粉じんの多い場所に設置しないでください。 火災、感電、故障の原因となります。</p>
	<p>設置時、リセット操作時、メンテナンス作業時以外は正面ケースを開けないでください。 感電、やけどのおそれがあります。</p>
	<p>本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。 発火のおそれがあります。</p>
	<p>水が掛かったり、表面に結露を生じるような湿気が多い場所、特に浴室やシャワールームには設置しないでください。 腐食や感電、故障の原因となります。</p>
	<p>水・油・洗剤等が掛かる位置に機器本体および電源プラグ用のコンセント(電源プラグ付機種の場合)を設けないでください。 腐食や感電、故障の原因となります。</p>

⚠ 警告	
	安全弁点検時は、安全弁本体や配管に手を触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、水栓金具に直接触れないで ください。 やけどのおそれがあります。

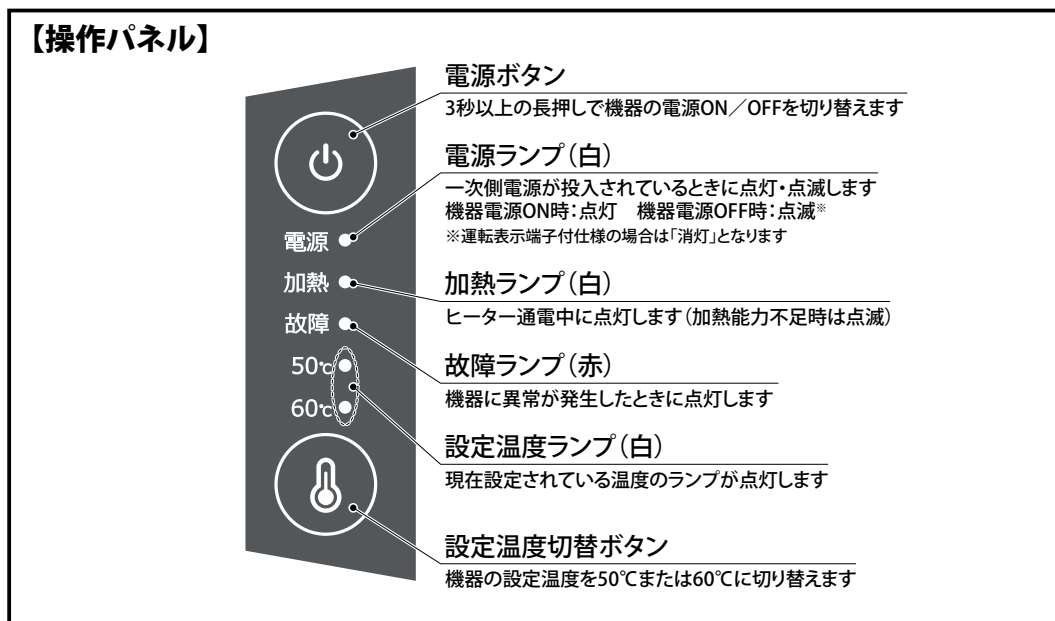
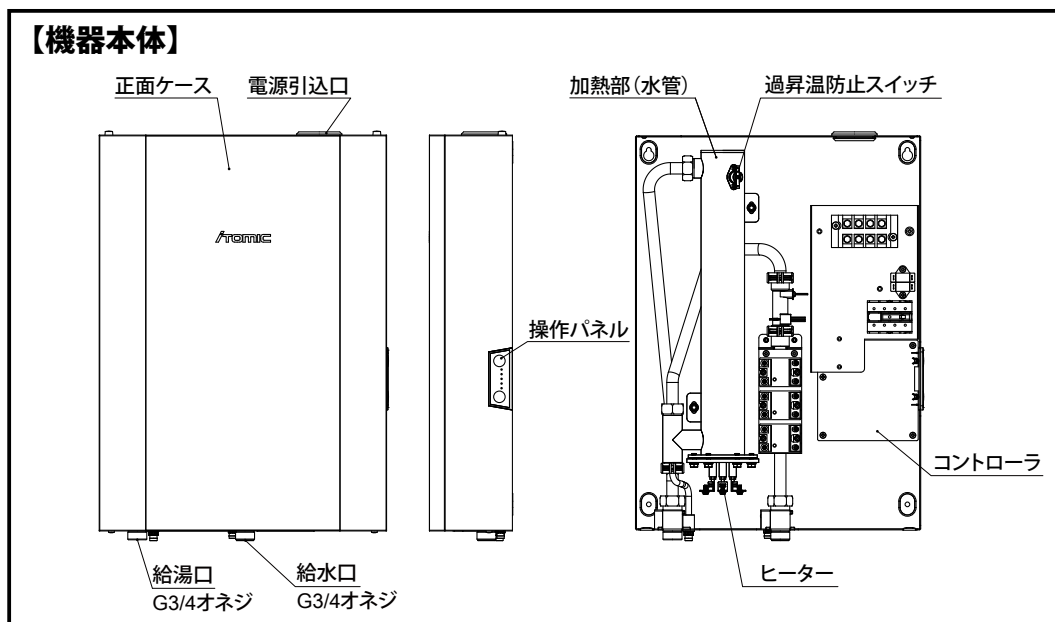
⚠ 注意	
	機器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。 落ちてケガをしたり、漏水、故障の原因となります。
	機器本体に強い力や衝撃を与えないでください。 故障や漏水の原因となります。
	水道水(上水)以外は使用しないでください。 井戸水などを使用すると腐食などにより漏水、故障、発火、漏電の原因となります。
	満水質量に十分耐えられる強度を持った壁面に必ず垂直に設置してください。 落下、故障の原因となります。
	給水、給湯配管が鳥居配管となる場合はエア抜き弁を必ず取り付けてください。 誤動作、故障の原因となります。
	給湯、給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。 漏水の原因となります。
	配管に使用するパッキンはノンアスベストパッキンを使用してください。 漏水の原因となります。
	満水にしてから通電してください。 故障の原因となります。
	火災予防条例に則した離隔距離を取って設置してください。 壁面損傷のおそれがあります。
	床面に防水、排水処理を施してください。 漏水が起きた場合、大きな被害につながるおそれがあります。
	規定の給水圧力(静止圧)にてご使用ください。給水圧力が0.4MPaを超える場合には 減圧弁を設け、調整してください。 誤動作、故障の原因となります。
	本体設置場所周辺の温度が氷点下になる、もしくは予想される場所では、各配管に対 しヒーターや保温材を巻く等の凍結予防処置を施してください。 凍結により破損、漏水の原因となります。
	給水温度は必ず35℃以下でご使用ください。 誤動作、故障の原因となります。
	他所との同時使用により水圧変動が起こり、お湯の使用中に湯温が急上昇するこ とがあります。 やけどのおそれがありますので、水圧変動を抑えた配管設備にしてください。(分岐場 所を遠くにするなど)
	機器本体へ配管接続する前に配管内のゴミ(切削粉・砂・シールテープ等)を除去する ため、止水栓を開きフラッシングしてください。 故障や漏水の原因となります。
	定期的に安全弁の動作確認を行ってください。 万一動作不良を起こした場合、配管が破損したり事故の原因となります。

EIZについて

本製品は50℃または60℃のお湯を出湯する壁掛型電気瞬間湯沸器です。
流量と水温を検知し、昇温に必要なヒーターへの電力供給を制御して出湯するように水を加熱します。

(ただし、能力不足、電圧降下などによる電圧変動、ヒーターの発熱量の差などにより設定温度が出ない場合があります)

各部名称



仕 様

型 式		EIZ-3101A0	EIZ-3150A0	EIZ-3200A0	EIZ-3300A0	EIZ-3400A0
標準電圧		三相200V				
ヒーター容量		10.1kW	15kW	20kW	30kW	40kW
定格電流		29.2A	43.3A	57.7A	86.6A	115.5A
発生熱量		36.4MJ/h	54MJ/h	72MJ/h	108MJ/h	144MJ/h
号数換算(※1)		5.7	8.6	11.5	17.2	22.9
使用最低流量(※2)		2.0L/min以上				
最高許容流量		25L/min				
50℃ 出湯量 (※3)	水温 5℃	3.2L/min	4.8L/min	6.4L/min	9.6L/min	12.7L/min
	水温15℃	4.1L/min	6.1L/min	8.2L/min	12.3L/min	16.4L/min
	水温25℃	5.8L/min	8.6L/min	11.5L/min	17.2L/min	22.9L/min
60℃ 出湯量 (※3)	水温 5℃	2.6L/min	3.9L/min	5.2L/min	7.8L/min	10.4L/min
	水温15℃	3.2L/min	4.8L/min	6.4L/min	9.6L/min	12.7L/min
	水温25℃	4.1L/min	6.1L/min	8.2L/min	12.3L/min	16.4L/min
使用水圧(静止時)		0.1~0.4MPa				
安全装置		空焚き検出、過昇温防止装置、温度センサー異常検出、SSR異常検出、パワーリレー溶着検出				
満水質量		14.2kg			20.8kg	
一次側使用水温		35℃以下(凍結しないこと)				
設置環境温度		0~40℃(凍結しないこと)				
本体寸法(mm) W×D×H		400×116×551			500×116×551	
設置場所		屋 内				

(※1) 号数とは、水温から25℃上昇させた時の毎分の出湯量を表します。

(※2) 使用最低流量は通電が継続する最低の流量で、それ以下の場合は動作しません。

(※3) 各ヒーター容量において給湯口から設定温度で出湯出来る最大流量を表しています。これ以上の流量にすると設定温度より低い温度で出湯されます。

共通項目

EIZについて

機種ごとの有効出湯能力

各機種ごとの出湯能力の目安です。EIZからのお湯と水道水を混合して、43℃のお湯をどれだけ供給できるかを計算したものです。便宜上放熱ロスや水温による体積変化などは計算対象から除外しています。

<表の見方>

例) 型式EIZ-3300A0、水温15℃、設定温度60℃の場合、混合水栓から43℃のお湯を3.2L/min～15.4L/minの範囲で給湯可能。

3.2L/min以下の場合には水になり、15.4L/min以上の場合、給湯温度は43℃以下になります。

- maxはそのときの水温で43℃で給湯できる最大流量です。これ以上になると湯温は43℃以下になります。
- minはそのときの水温で43℃で給湯できる最小流量です。これ以下ですと湯沸器の水量センサーが反応せず水になります。
- 機器選定の目安として水温5℃想定でシャワー(1ヵ所給湯)に利用される場合、EIZ-3300A0(ヒーター容量30kW)以上を推奨します。

【50℃設定時】

型 式		EIZ-3101A0	EIZ-3150A0	EIZ-3200A0	EIZ-3300A0	EIZ-3400A0
ヒーター		10.1kW	15kW	20kW	30kW	40kW
水温 5℃	max	3.8L/min	5.7L/min	7.5L/min	11.3L/min	15.1L/min
	min	2.4L/min				
水温15℃	max	5.2L/min	7.7L/min	10.2L/min	15.4L/min	20.5L/min
	min	2.5L/min				
水温25℃	max	8.0L/min	11.9L/min	15.9L/min	23.9L/min	25.0L/min
	min	2.8L/min				

【60℃設定時】

型 式		EIZ-3101A0	EIZ-3150A0	EIZ-3200A0	EIZ-3300A0	EIZ-3400A0
ヒーター		10.1kW	15kW	20kW	30kW	40kW
水温 5℃	max	3.8L/min	5.7L/min	7.5L/min	11.3L/min	15.1L/min
	min	2.9L/min				
水温15℃	max	5.2L/min	7.7L/min	10.2L/min	15.4L/min	20.5L/min
	min	3.2L/min				
水温25℃	max	8.0L/min	11.9L/min	15.9L/min	23.9L/min	25.0L/min
	min	3.9L/min				

工事要領

正しく取り付けるため、必ずこの手順に沿って施工してください。

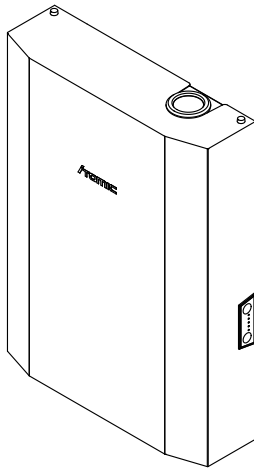
施工前にご確認ください

施工前にご確認ください

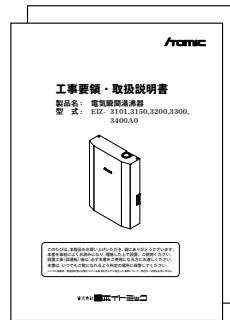
1. 部品の確認

【製品に同梱されています】

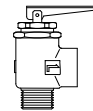
EIZ本体



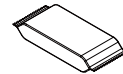
付属品



工事要領・取扱説明書×1、
保証書×1
(工事終了後、ご使用になられる方
へお渡しください。)



安全弁 (0.5MPa)



配線用パテ

【お客様にてご手配ください】

お客様手配品 (→P.13『標準配管図』参照)

- ①混合水栓・・・・・・・・湯沸器には出湯温度を細かく調節する機能がないため必要です。
- ②給水、給湯配管・・・・・・・・配管するために必要です。
- ③袋ナット、ユニオン・・・・メンテナンスの際に湯沸器、安全弁を取り外せるよう施工するために必要です。
- ④パッキン・シールテープ・・配管接続部分から漏水させないために必要です。パッキンは必ずノンアスベストパッキンをご使用ください。ゴム製のパッキンを使用すると、漏水のおそれがあります。
- ⑤ストレーナー・・・・・・・・湯沸器内へのゴミの流入を防止します。
- ⑥止水栓・・・・・・・・流量の調節やメンテナンス等の際に給水を止めるため必要です。
- ⑦漏電ブレーカ・・・・・・・・万一の故障や漏電した際の事故を防止します。(30mA、0.1秒)
- ⑧固定用ボルト類・・・・現場に合った固定用のボルトやAYプラグ等をご用意ください。

上記手配品は必ずご用意ください。

- ⑨減圧弁・・・・・・・・給水圧力が0.4MPaを超える場合は必ず取付けてください。

上記手配品は設置状況に応じてご用意ください。

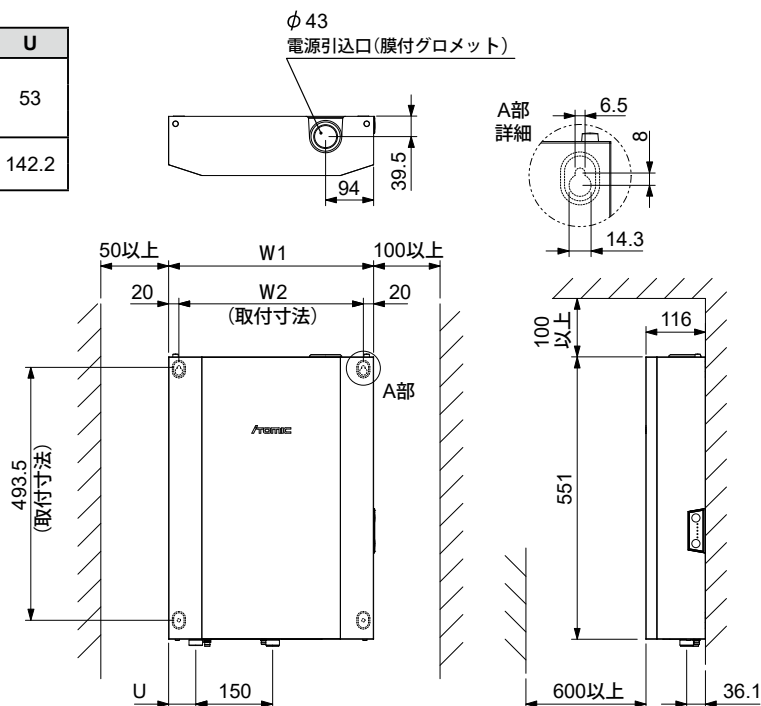
2.設置場所の確認

チェックリスト

項目	チェック内容	チェック
設置環境	凍結しない場所ですか？ 凍結の可能性がある場所では、各配管に対しヒーターや保温材を巻くなどの凍結予防処置を施してください。	<input type="checkbox"/>
メンテナンススペース	メンテナンスのために本体を取り外せるスペースは確保されていますか？ メンテナンススペースが取られていないと、修理やメンテナンスの際に製品を取り外すことができません。下記の取付寸法と併せてご確認ください。	<input type="checkbox"/>
配管距離	給湯配管距離が長すぎませんか？(推奨2m以内) 給湯場所が機器より離れすぎている場合は、お湯の待ち時間が長くなります。また、放熱ロスを防ぐためにも2m以内を推奨します。	<input type="checkbox"/>
取付壁面	垂直な壁面ですか？ 垂直でない場合はお取り付けいただけません。	<input type="checkbox"/>
	満水質量に耐えられる壁面ですか？ 強度が不十分な場合は補強を行うなどの対策が必要です。	<input type="checkbox"/>
電源の有無	三相200Vの電源が引込める位置にありますか？ 無い場合は取り付けや増設が必要です。	<input type="checkbox"/>
電圧	定格電圧(三相200V)の±10%以内ですか？ 電圧が範囲内に収まっていないと、性能を十分に発揮できない場合や、故障・火災の原因にもなりますので、一時変動がある場合にも定格電圧の±10%以内の電圧であることを確認してください。	<input type="checkbox"/>
給水圧力	給水圧力は0.1MPa～0.4MPaの間になっていますか？ 湯沸器が正しく動作しませんので、必ず上記の範囲の給水圧力があることを確認してください。0.4MPaを越える場合は減圧弁を設け、調整してください。	<input type="checkbox"/>

寸法表

	W1	W2	U
EIZ-3101A0	400	360	53
EIZ-3150A0			
EIZ-3200A0			
EIZ-3300A0	500	460	142.2
EIZ-3400A0			

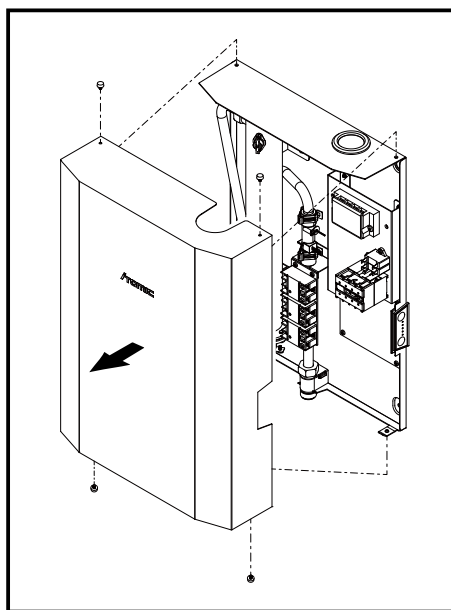


施工する

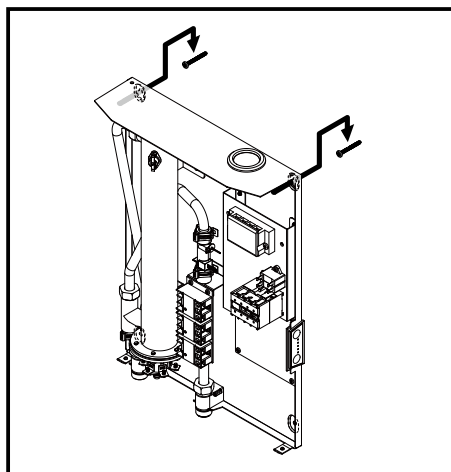
1.設置工事

※設置工事にあたっては各市町村の火災予防条例に則した距離をとって、十分な強度を持つ壁へ固定ボルトやAYプラグ等で垂直に固定してください。

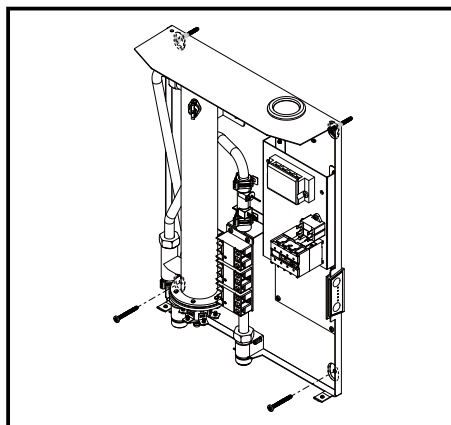
- ①機器を取り付ける壁面にダルマ穴用のアンカーボルト(2本)を最初に取り付けます。
※取付寸法はP.10「寸法表」を参照し、水平になるように取り付けてください。
- ②製品の上下各2箇所のコリヤねじを外し、正面ケースを取り外してください。



- ③手順①で取り付けしたアンカーボルトに機器上部のダルマ穴を引っ掛けます。



- ④下部2点と併せて本固定します。



2.電気工事

- ①電源一次側にお客様手配品の漏電ブレーカを取り付け、D種接地工事を行ってください。

配線する

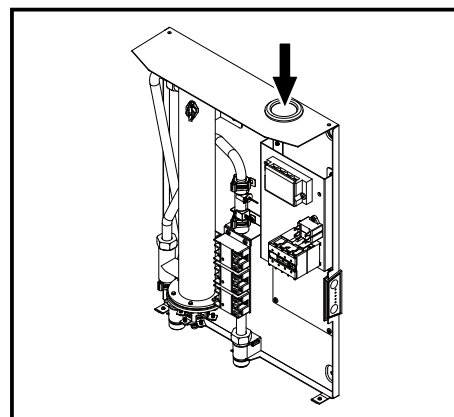
- ①一次側の電源がOFFになっていることを確認してください。

- ②膜付グロメットに切り込みを入れ電源ケーブルを機器内に引き込みます。

※右表を参考にして ◆引込電線表(参考)

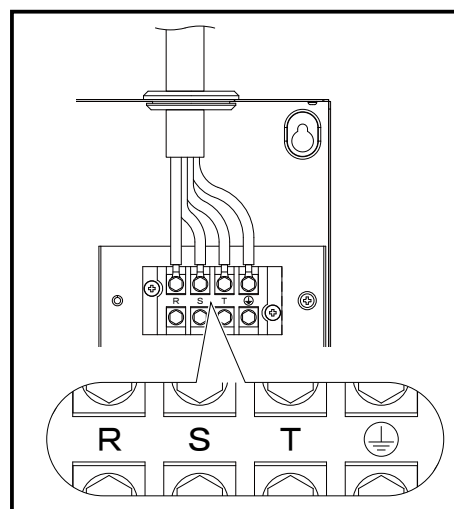
電源ケーブルを選
定してください。
(内線規程1340-2表
による)

機 種	引込電線断面積
EIZ-3101A0	5.5mm ²
EIZ-3150A0	14mm ²
EIZ-3200A0	14mm ²
EIZ-3300A0	38mm ²
EIZ-3400A0	60mm ²



- ③引き込んだ電源ケーブルを端子台へ接続してください。

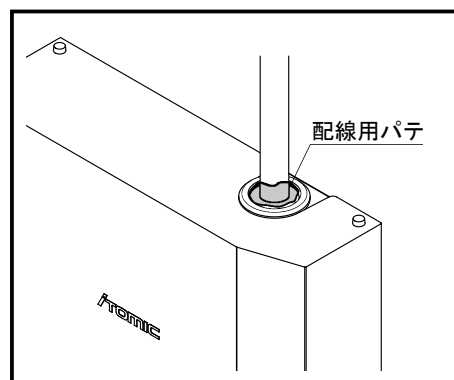
※端子台の表示を確認し、接続先を間違えないように注意してください。



- ④正面ケースを取り付けてください。

- ⑤膜付グロメットの切り込みからほこり等が侵入しないよう、付属の配線用パテで隙間を埋めてください。

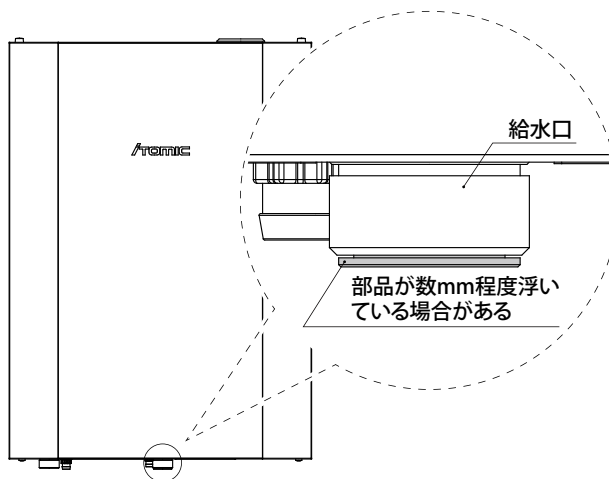
※正面ケースが外せなくなるおそれがあるため、パテはグロメットからはみ出さないように注意してください。



- ・本器は電源投入中に機器内部からジー…という音が鳴りますが、電気部品の駆動音であり製品の異常ではありません。
- ・本器はヒーター通電時に大電流が流れるため、電源線に微振動が発生します。配線を壁に固定すると、まれに壁面と共振し振動音が発生する場合がありますが、製品の異常ではありません。

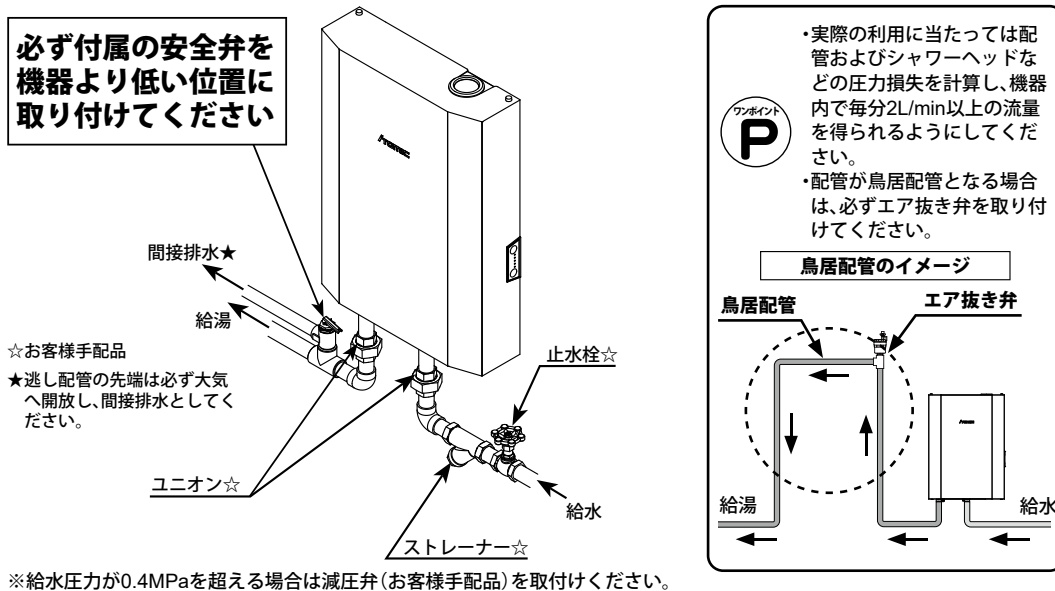
3.配管工事

- 湯切れや偏流を避けるため、給湯口数(給湯栓数)は湯沸器の給湯能力に見合った個数にしてください。
- 推奨給湯配管距離は2m以内です。
- 本体設置場所周辺の温度が氷点下になる、もしくは予想される場所では、各配管に対し、ヒーターや保温材を巻く等の凍結予防処置を施してください。
- 付属の安全弁は機器本体より低い位置に取り付けてください。
- 給水口に取り付けられている部品が浮いている場合がありますが、機能等に影響はありませんのでそのまま配管接続してください。



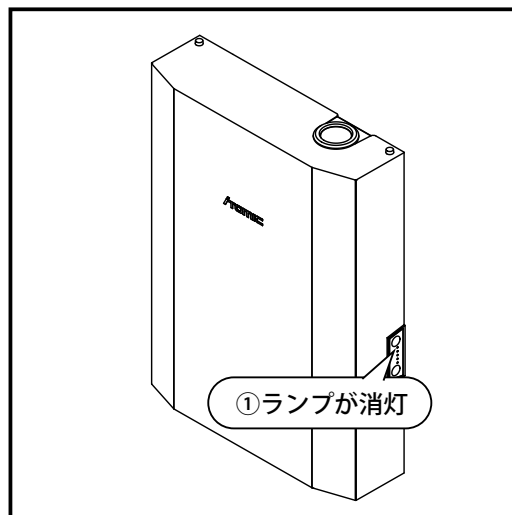
- ①給水一次側にお客様手配品のストレーナー、止水栓、袋ナットもしくはユニオンを必ず取り付けてください。
- ②給湯側に付属の安全弁(0.5MPa)を必ず取り付け、その先には逃し配管を設置して間接排水を行ってください。また、給湯配管には袋ナットもしくはユニオンを取り付けてください。

EIZ標準配管図



4. 試運転を行う

- ①一次側の電源がOFF(全てのランプが消灯)になっていることを確認してください。

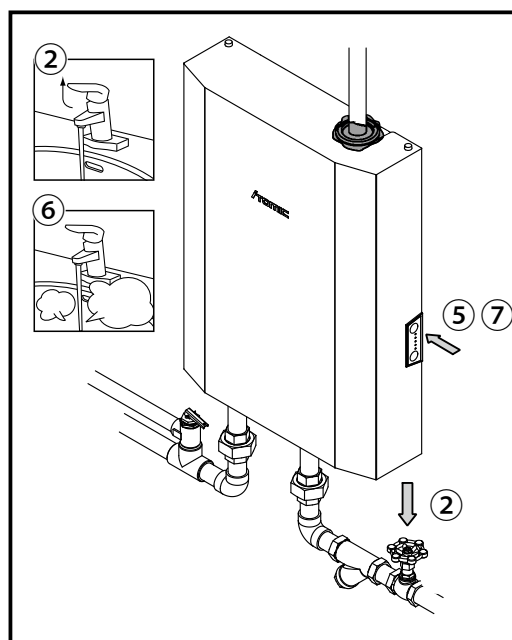


- ②止水栓を開けて、混合水栓の湯側を全開にしてください。湯沸器や配管が満水になるまで(水の量が安定するまで)流し続けます。

※湯沸器や配管が満水になるまでは空気を含んだ水が出ます。

水の量が安定したら配管内のゴミ、汚れを排出するため、そのまましばらく流し続けます。

- ③ストレーナーの清掃を行ってください。
- ④混合水栓を閉めて、各配管接続部からの漏水がないか確認してください。
- ⑤一次側の電源を入れ、電源ボタンを3秒長押しして機器の電源ONにしてください。
- ⑥混合水栓を再度開き、2L/min以上の流量で水を出して温水が出ることを確認してください。確認できたら混合水栓を閉めてください。(配管距離が長い場合はお湯が出るまで時間がかかることがあります。)
- ⑦電源ランプ(白)と設定温度ランプ(50℃または60℃:白)が点灯していることを確認してください。



5.施工後の確認

チェックリスト

項目	チェック内容	チェック
設置工事	湯沸器にがたつきはありませんか？	<input type="checkbox"/>
配管工事	各配管、継手に漏水はないですか？	<input type="checkbox"/>
	ストレーナーの中にゴミ詰まりはないですか？	<input type="checkbox"/>
電気工事	漏電ブレーカは正しく作動しますか？	<input type="checkbox"/>
	D種接地工事は正しく行われていますか？	<input type="checkbox"/>

以上で施工終了です。

取扱説明

正しく安全にお使いいただくため、必ずお読みください。

使用方法

1.使用前の準備と確認

チェックリスト

項目	チェック内容	チェック
本体まわり	近くにガス類や引火物はないですか？	<input type="checkbox"/>
	本体の上には物などを乗せていませんか？	<input type="checkbox"/>
	安全弁が吹き出ていませんか？	<input type="checkbox"/>
	各配管、継手に漏水はないですか？	<input type="checkbox"/>

お願い:故障時の対応策をおとりください

故障した場合、修理完了までの間機器は使用できません。給湯不能時の営業保証はいたしませんので「故障＝営業停止」に至るような使い方はおやめください。予備機を設置するなど、運用でカバーできる体制を事前に整えてください。

- ①給湯側の混合水栓が閉じていることを確認します。
- ②一次側電源および湯沸器の電源をONにします。(→P.5『各部名称』参照)
- ③止水栓(→P.13『標準配管図』)を開きます。(止水栓の位置と操作方法が分からない場合は施工業者様へおたずねください。)

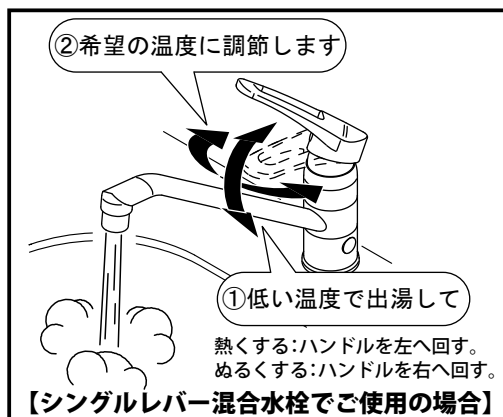
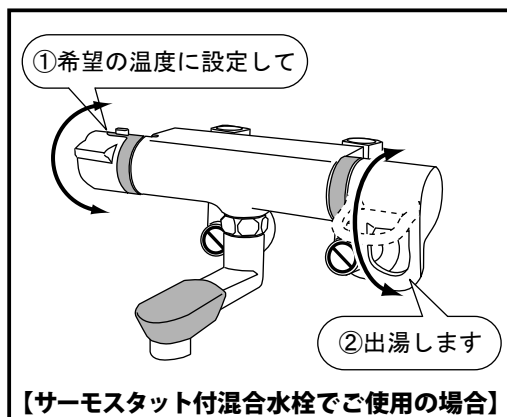
2.お湯を出す／お湯の温度を調整する

EIZには水の流れを検知する水量センサーが組み込まれており、混合水栓を開いて流した水の量(2L/min以上)を検知することでヒーターへの通電を開始し、お湯を沸かします。

お湯の温度は能力の範囲で流量(給湯量)に応じ給湯します。

※ただし、電圧降下などによる電圧変動、ヒーター発熱量の差などにより設定温度の湯温が出ない場合があります。そのため、ご使用時には湯温を簡単に調整できる混合水栓やサーモスタット付混合水栓で温度を調節しながらお使いください。

給湯栓による湯温調節

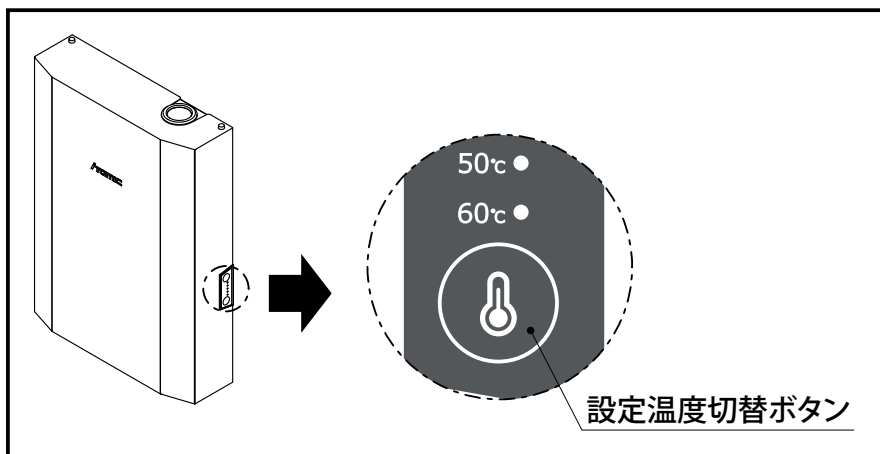


使用中、湯沸器本体に流れる流量(出湯量)が2L/min未満になるとヒーターへの通電がストップし、お湯になりません。
他の給水による水圧変化や給湯栓の絞りすぎにはご注意ください。

3.設定温度を変更する

機器側面にある操作パネルの「設定温度切替ボタン」を押すごとに設定温度を50℃または60℃へ切り替えることができます。

現在設定中の温度はボタン上部のランプで確認できます。

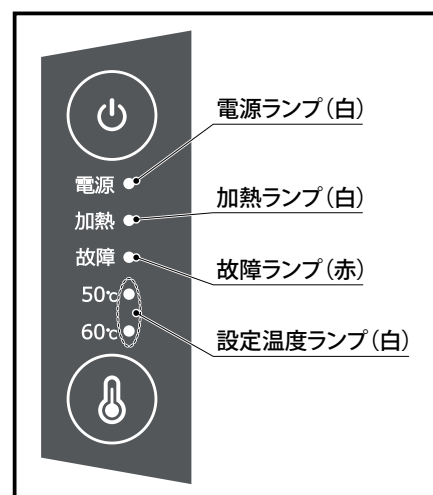


4.ランプの点灯状態

操作パネルの各ランプは以下の状態の時に点灯・点滅します。

また、故障発生時にも各ランプの組み合わせで点灯・点滅する場合がありますので、P.22「故障かな？と思ったら」とあわせてご確認ください。

- 電源ランプ(白)
 - 点灯 :一次側の電源ON かつ 機器の電源ON
 - 点滅※:一次側の電源ON で 機器の電源OFF
 - ※運転表示端子付仕様の場合は「消灯」となります
- 加熱ランプ(白)
 - 点灯 :ヒーター加熱中
 - 点滅 :ヒーター加熱中(能力不足)
- 設定温度ランプ(白)
 - 点灯 :現在設定されている温度(50℃または60℃のどちらか)



お手入れの方法

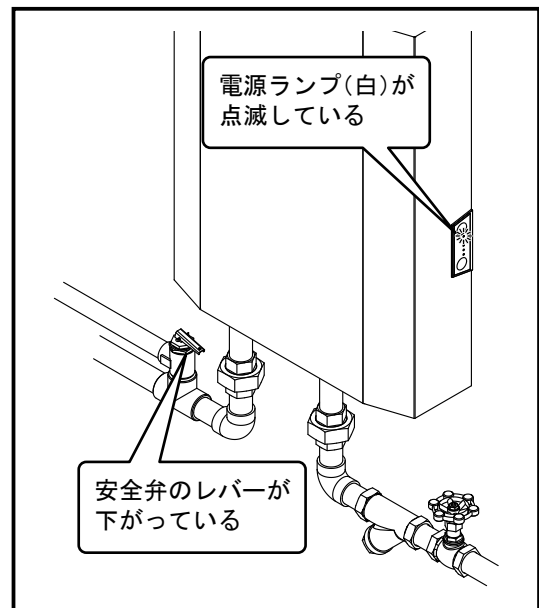
保守点検項目と実施の目安

点検項目	点検内容	点検の目安
重要 安全弁の動作確認	安全弁から常時水が出ていないか確認してください。(P.19『安全弁の動作確認』参照)	1回/月
漏水全般についての点検	本体および各配管接続部から漏水のないことを確認してください。	1回/日

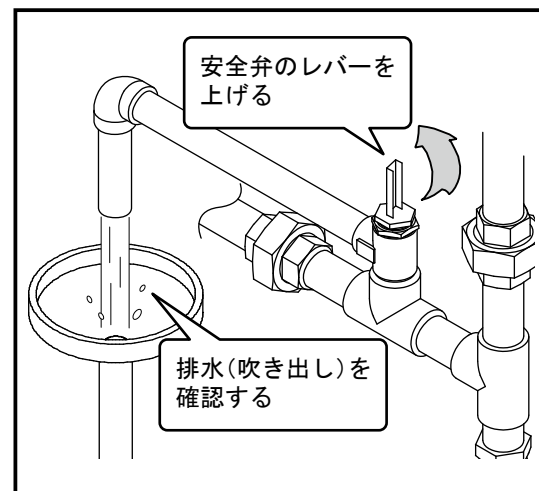
安全弁の動作確認

安全弁が作動しなくなると機器内部配管などの破損や事故の原因となります。定期的に安全弁の動作確認を行ってください。

- ① 湯沸器の電源がOFF(電源ランプ(白)が点滅[※])になっていることを確認してください。
※運転表示端子付仕様の場合は「消灯」
- ② 安全弁テストレバーが下がっていることを確認してください。

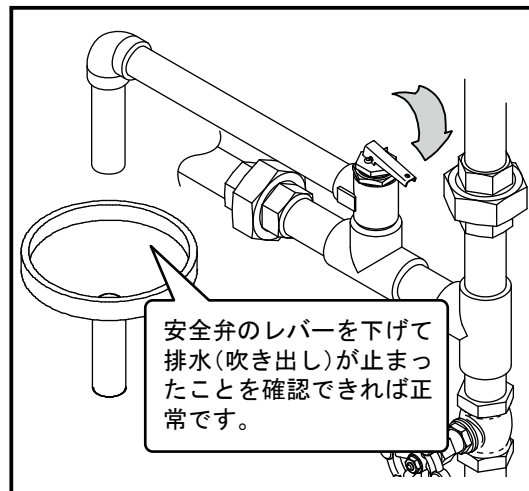


- ③ 安全弁テストレバーを上げ、排水(吹き出し)を確認してください。正常に排水しない場合は故障ですので、アフターサービス窓口へご連絡ください。



- ④排水が確認できたら必ず安全弁テストレバーを下げて排水が止まることを確認してください。(レバーを上げたままの場合、安全弁から水が排出され続けてしまいます)

ワンポイント
P
安全弁の内部にゴミが付着すると水が流れ続ける場合があります。そのようなときは安全弁レバーを上げて、しばらく水を流した後で再度確認を行ってください。



凍結による破損防止について

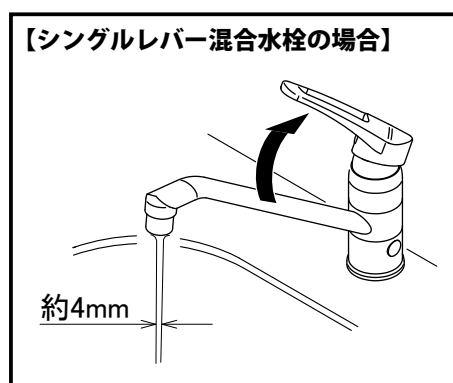
あたたかい地域でも冬期は湯沸器や配管内の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。そのような事故を防止するために必要な処置を施してください。

なお、凍結による破損事故は保証期間内であっても保証の対象とならず、有料修理となります。

外気温が極端に低くなる(凍結が予測される)日や、それ以上の外気温でも風がある日、低温注意報が発表された際などは以下の処置をしてください。

水栓のお湯側で少量の水(1分間に約400ml、吐水径約4mm)が流れ続けるように調節してください。

※水の流量が2L/minを超えるとヒーター通電され、通常の運転状態となりますので調節にはご注意ください。



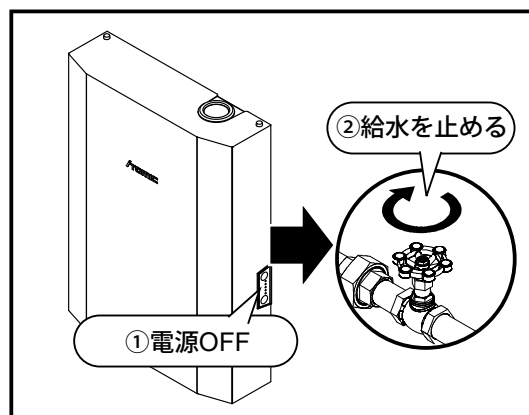
長期間使用しないときは

○凍結のおそれがない場合

- ①一次側電源および湯沸器の電源をOFFにします。

- ②止水栓を閉め、給水を止めてください。

※水のみでご使用を続ける場合には、止水栓を開けたままにしてください。

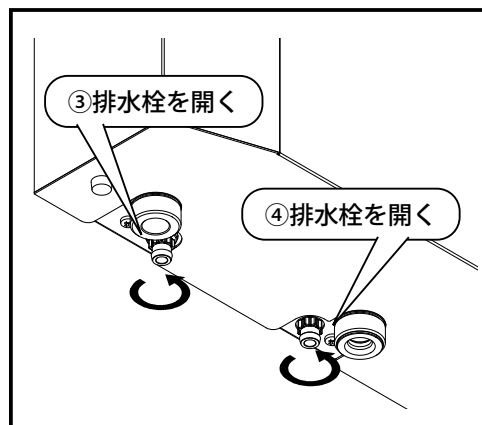


○凍結のおそれがある場合

以下の手順に従って水を抜いてください。

- ①一次側電源および湯沸器の電源をOFFにします。
- ②止水栓を閉め、給水を止めてください。
- ③給湯側の排水栓を開いてください。
湯沸器内部の水が一部排水されます。
- ④排水が止まったら給水側の排水栓を開いてください。
再度排水がはじまります。

※排水栓から水が出ますのでバケツ等で受けてください。
ホースを使って排水する場合には内径Φ10のビニールホース等をご用意ください。
※右図は接続配管の絵を省略しています。

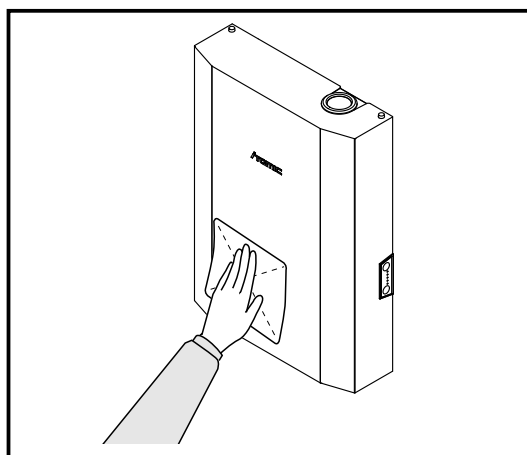


- ⑤安全弁のレバーを上げて全ての水を抜いてください。
 - ⑥各排水栓からの排水が止まったことを確認した後、安全弁テストレバーを下げてください。
- ※凍結による破損防止のため排水栓は閉じずに開けたままにしてください。
- 以上で水抜き作業終了です。

※機器を再度ご使用の際は排水栓を閉め、P.14「試運転を行う」の手順を参照して機器を運転させてください。

外装の清掃

水に浸して固く絞った布で、汚れがひどいときは適量に薄めた中性洗剤に浸して固く絞った布で拭いてください。薬品やクレンザーなどは使用しないでください。



こんなときは

故障かな？と思ったら

湯沸器が正しく運転しない場合や不調な際の修理ご依頼の前に、ランプの点灯状態をご確認ください。(P.5「各部名称」参照)

※ランプ凡例 ○:点灯、◎:点滅、-:消灯、を示します。
通常、電源ランプ(白)のみが点灯している○-の状態が正常です。

状況	ランプ※					対処方法
	電源 (白)	加熱 (白)	故障 (赤)	50℃ (白)	60℃ (白)	
水もお湯も出ない または 出が悪い	○	-	-	-	-	機器への給水状況を確認してください。 断水中は使用できませんので、断水が終了するまでお待ちください。断水が終了した後、お湯が濁っているような場合には濁りがなくなるまで出し続けてください。 止水栓を確認してください。閉じている場合は開いてください。 ストレーナーにつまりが無いか確認してください。 つまりがある場合にはストレーナーの清掃を行ってください。 (清掃に関しては管理技術者の方にお問い合わせください。) 給水圧力を確認してください。 湯沸器が適切に運転するため給水圧力は0.1MPa必要です。給水圧力が低い場合は管理技術者の方へご相談ください。
	-	-	○	-	◎	ヒーター用リレー(SSR)異常のおそれがあります。 アフターサービス窓口まで至急ご連絡ください。
	-	-	○	◎	◎	同時に点滅 ヒーター用リレー(パワーリレー)溶着のおそれがあります。 アフターサービス窓口まで至急ご連絡ください。
	-	-	○	◎	◎	交互に点滅 ヒーター断線もしくはヒーター用リレー(SSR、パワーリレー)異常のおそれがあります。 アフターサービス窓口まで至急ご連絡ください。
お湯が沸かない (水のまま)	-	◎	◎	-	-	同時に点滅 温度センサー異常のおそれがあります。 アフターサービス窓口まで至急ご連絡ください。
	-	◎	◎	-	-	交互に点滅
	-	-	◎	-	-	給水温度が高い可能性があります。 湯沸器の電源をOFFにして給水温度を確認してください。35℃以下であれば、再度電源をONにしてお使いください。給水温度が高い場合は、管理技術者の方へご相談ください。
	-	-	○	-	-	過昇温防止スイッチが働いています。 アフターサービス窓口まで至急ご連絡ください。
	○	○	○	○	○	コントローラ異常のおそれがあります。 アフターサービス窓口まで至急ご連絡ください。
	-	-	-	-	-	一次側電源を確認し、OFFの場合はONにしてください。
	-	-	-	-	-	機器への給電状況を確認してください。 停電の場合は電気の復旧をお待ちください。
	-	-	-	-	-	【運転表示端子付仕様の場合】 機器の電源がOFFになっている場合はONにしてください。

取扱説明

こんなときは

※ランプ凡例 ○:点灯、◎:点滅、-:消灯、を示します。
通常、電源ランプ(白)のみが点灯している○-の状態が正常です。

状況	ランプ*					対処方法
	電源 (白)	加熱 (白)	故障 (赤)	50 ℃ (白)	60 ℃ (白)	
お湯が沸かない (水のまま)	○	-	-	-	-	<p>流量(出湯量)が少なすぎる可能性があります。 湯沸器の使用最低流量は2L/min以上です。P.6「仕様」を参照して混合水栓や止水栓を調整してください。</p> <p>配管接続が正しく行われているか確認してください。 給湯と給水の配管に間違いがないか管理技術者の方に確認をご依頼ください。</p> <p>給水圧力が低すぎる可能性があります。 湯沸器が適切に運転するため給水圧力は0.1MPa以上必要です。給水圧力が低い場合は管理技術者の方へご相談ください。</p>
	◎	-	-	-	-	電源がOFFになっている場合はONにしてください。
お湯がぬるい	○	-	-	-	-	<p>混合水栓が故障している可能性があります。 故障の場合は混合水栓メーカーの販売店にご相談ください。</p> <p>混合水栓の給湯と給水の圧力バランスを確認してください。 やけどに注意しながら「湯だけ」、「水だけ」をそれぞれ出して流量を比較してください。両方の出方のバランスが取れていない場合は管理技術者の方へご相談ください。</p>
	-	◎	-	-	-	<p>給水温度を確認してください。 機器能力以上の給湯はできませんのでご了承ください。(P.7『機種ごとの有効出湯能力』参照)</p> <p>流量(出湯量)が多すぎる可能性があります。 P.7『機種ごとの有効出湯能力』を参照して混合水栓や止水栓を調整してください。</p>
お湯が熱すぎる	○	-	-	-	-	<p>混合水栓が故障している可能性があります。 故障の場合は混合水栓メーカーの販売店にご相談ください。</p> <p>混合水栓の給湯と給水の圧力バランスを確認してください。 やけどに注意しながら「湯だけ」、「水だけ」をそれぞれ出して流量を比較してください。両方の出方のバランスが取れていない場合は管理技術者の方へご相談ください。</p>
汚れたお湯が出る	○	-	-	-	-	<p>断水や水道工事が行われた可能性があります。 濁りがなくなるまで出し続けてください。</p> <p>配管が腐食や劣化している可能性があります。 配管のサビ等による赤水が続く場合は管理技術者の方へご相談ください。</p>
漏水している	○	-	-	-	-	<p>湯沸器本体からの場合はすぐに止水栓を閉めて一次側電源および湯沸器の電源をOFFにし、アフターサービス窓口まで至急ご連絡ください。</p> <p>配管接続部からの場合は各配管接続部を締め直してください。</p>
本体から異音がる	○	-	-	-	-	電源投入中はジー…という電子部品の駆動音が鳴りますが異常ではありません。そのままお使いください。
	◎	-	-	-	-	

これらの対処を行っても改善されない場合は、アフターサービス窓口までご相談ください。

停電後の対応について

停電後は、停電が起こったときの運転状態で復帰します。電源ON中に停電が起きた場合は電源ON状態で、電源OFF中に停電が起きた場合は電源OFF状態で復帰します。

アフターサービス

消耗品について

下表に記載の部品は定期的な交換が必要な消耗部品です。劣化による動作不良や漏水を防止するため定期的に交換してください。交換(有償)はアフターサービス窓口までご連絡ください。

部品名		交換時期の目安	交換いただく理由
弁・パッキン	安全弁	設置、交換日より 3~5年	長期間で使用いただくことにより、経年劣化やスケール※による動作不良や漏水を起こす可能性があります。漏水が起きた場合大きな被害を与えることがありますので、交換することによりそれらを防止します。(※水道水中のミネラル分が固着したもの。)
	Oリング パッキン類		
電装部	ヒーター		
	センサー類		
	コード・配線類		
	その他電装部		

※上記以外でもパッキン類や電気部品交換が必要になる場合があります。使用頻度、環境によっては交換時期が早まる場合があります。

補修用性能部品について



本製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。

メンテナンス契約について

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは裏表紙に記載の弊社リニューアル課までご連絡ください。また、部品の注文はアフターサービス窓口にて承っております。

修理をご依頼の際には

修理をご依頼されるときは、P.26の故障状況シートの必要事項にご記入いただき、お電話またはインターネット、FAXにてご連絡ください。(型番や製造番号等は本体貼り付けの保証票に印刷されていますので、故障状況シートへ転記してください。)

保証票		電気瞬間湯沸器	
型番	EIZ-3101A0	電源	三相 200V
最高使用圧力	0.5 MPa	周波数	50/60Hz
伝熱面積	0.168 m ²	消費電力	10.1kW
満水質量	約14.6kg	屋内	IPXX
使用水圧	0.1 - 0.4 MPa	 	
製造年月	XXXX年XX月		
保証期間	納入後3年間		
製造番号	123456789-123		
株式会社日本イトミック		123456	
アフターサービス・お問い合わせ TEL 0570-011039			

アフターサービス窓口

TEL (全国共通ナビダイヤル)



一般電話・公衆電話・携帯電話の場合(市内通話料金でご利用可能です)

0570-011039

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

受付時間：24 時間 365 日 (営業時間：8：45～17：45)

一般電話・公衆電話の場合は市内通話料金でご利用可能、携帯電話からも接続可能です。

【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。その場合には、時間を置いて再度おかけ直してください。※PHS、IP電話からはご利用になれません。その場合、以下の窓口にお問い合わせください。

関東地区のお客様：03 (3621) 2161 関東地区以外のお客様：裏表紙記載の最寄りの営業所にお問い合わせください。

インターネット (インターネット修理受付窓口)

<https://www.itomic.co.jp/repair/>

インターネットのフォームにて修理のご依頼を受け付け致します。入力内容のご確認および訪問日のご調整のため、お申込み頂いた翌営業日に担当者よりご連絡を差し上げます。

FAX (FAX 修理受付窓口) 03-3621-2163

FAX で修理のご依頼を受け付け致します。P.26 の故障状況シートに記載の上、最寄りの営業所へお送りください。
(裏表紙に記載)

故障状況シート

貴社名		ご担当者名	
ご住所			
TEL		FAX	
製品型番	EIZ-		
電源、電力		製造番号	
設置場所		保証期限	
状態			

MEMO

MEMO

【無料修理規定】

本規定は、保証票に記載された製品につき、納入から3年の間に故障が発生した場合、下記記載内容に基づいて無料修理を行うことをお約束するものです。保証票に記載された製造番号をご提示の上、アフターサービス窓口までご依頼ください。

1. 取扱説明書・製品本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障が発生した場合には無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、アフターサービス窓口にご依頼の上、修理に際して保証票に記載された製造番号をご提示ください。なお、遠隔地（離島および離島に準ずる遠隔地）への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は、事前にアフターサービス窓口にご相談ください。
4. 補償範囲は機能部とその付属品のみで、配管類は含みません。
5. 保証期間内でも次の場合は保証の対象とならず、有料修理となります。
 - (1) お客様が取扱説明書・本体貼付ラベル等に記載された手順・注意を守らなかったことによる不具合や、部品・タンク内の清掃など日常のお手入れを行わなかったことによる不具合※1
 - (2) Oリング・パッキン類の摩耗・劣化による不具合や、電池の消耗による不具合
 - (3) 工事要領に指示する方法に基づかない施工や工事設計による不具合※2
 - (4) 輸送・搬入・移動の際の落下・転倒・接触等による不具合
 - (5) 専門業者以外による移動・分解・修理・改造などによる不具合
 - (6) 指定規格以外の電気（電圧・周波数など）の使用や電力契約の間違いによる不具合
 - (7) 温泉水・井戸水など水道水以外の水を給水したことによる不具合
 - (8) 設備側の排水不良等による冠水により生じた不具合
 - (9) 電気・給水の供給トラブル等による不具合
 - (10) 配管の錆・砂・ゴミ等異物の流入による不具合
 - (11) 建築躯体の変化などに起因する不具合や、塗装の色あせなどの経年変化またはご使用に伴う摩耗等による外観上の不具合
 - (12) 火災、爆発等の事故、地震・津波・噴火・風水害・雷などの天災や地変、煤煙、降灰、酸性雨、凍結、海岸付近や温泉地等の地域における腐食性の空気環境、ほこり、異常電圧、異常電磁波、ねずみ・鳥・昆虫などの動物の行為、または戦争・暴動など破壊行為による不具合
 - (13) 保証票の提示が無い場合
6. 無料修理により交換された部品や製品は（株）日本イトミックの所有となります。
7. 製品の保証は日本国内におけるご使用の場合のみ有効です。

※1：日常のお手入れとはお客様ご自身で行えるもののほかに、設備業者や管理技術者に依頼が必要なものがございます。製品や部品によってお手入れ方法や時期が大きく異なりますので、取扱説明書やラベル等を必ずご確認くださいとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。

※2：製品によって施工方法や注意事項が大きく異なりますので、施工時には工事要領を必ずご確認くださいとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。

■お客様へ

1. 製品をお受け取りになる際は、製造番号が記載されている保証票が貼り付けられていることを確認してください。
2. 保証票の再発行はいたしません。
3. 機器が正しく運転しない場合や不調な場合は、修理ご依頼の前に「こんなときは」の項をご覧ください。
4. 無料修理期間経過後の故障・修理等につきましては、「アフターサービス」の項をご覧ください。アフターサービス窓口までお問い合わせください。
5. 保証票によって、保証票を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

株式会社 日本イトミック

本社・営業本部 TEL: 03 (3621) 2121 (代)
FAX: 03 (3621) 2130
〒131-0045 東京都墨田区押上 1-1-2 (東京スカイツリーイーストタワー 24F)
ホームページ <https://www.itomic.co.jp/>

《修理に関するお問い合わせ》

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

一般電話・公衆電話・携帯電話の場合(市内通話料金でご利用可能です)



0570-011039

【ナビダイヤルに関するご注意】

- ※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。
- ※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。その場合には、時間をおいて再度おかけ直しください。
- ※PHS、IP電話からはご利用になれません。関東地区のお客様は以下の窓口、その他の地域のお客様は最寄りの営業所まで直接お問い合わせください。

関東地区お問い合わせ TEL: 03 (3621) 2161
FAX: 03 (3621) 2163

《保守契約に関するご相談》

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは下記の弊社リニューアル課までご連絡ください。

また、部品のご注文はアフターサービス窓口で承っています。

リニューアル課 TEL: 03 (3621) 2760
FAX: 03 (3621) 2160

《担当エリアと営業所》

北海道地区 TEL: 011 (615) 6681
北海道営業所 FAX: 011 (615) 7004
〒063-0801 北海道札幌市西区二十四軒 1 条 5-1-10 (ラポール 24 軒 2 号館)
担当エリア: 北海道地区全域

東北地区 TEL: 022 (357) 0848
東北営業所 FAX: 022 (357) 0847
〒983-0014 宮城県仙台市宮城野区高砂 2-8-21
担当エリア: 青森県/岩手県/秋田県/山形県/宮城県/福島県

関東・新潟・山梨・静岡地区 TEL: 03 (3621) 2121
(株) 日本イトミック 本社 FAX: 03 (3621) 2130
〒131-0045 東京都墨田区押上 1-1-2 (東京スカイツリーイーストタワー 24F)
担当エリア: 東京都/千葉県/埼玉県/茨城県/栃木県/群馬県/神奈川県/山梨県/新潟県/静岡県

中部・北陸地区 TEL: 052 (222) 2561
中部営業所 FAX: 052 (222) 2559
〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内 1-4-12 (アレックスビル 3F)
担当エリア: 富山県/石川県/福井県/岐阜県/愛知県/三重県/長野県

近畿地区 TEL: 06 (7177) 4949
関西営業所 FAX: 06 (7177) 4948
〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町 3-1-11 VORT 御堂筋本町 II 7F
担当エリア: 大阪府/京都府/滋賀県/和歌山県/奈良県/兵庫県

中国・四国地区 TEL: 082 (240) 1361
中国営業所 FAX: 082 (240) 1363
〒730-0051 広島県広島市中区大手町 2-3-9 (大手町中村ビル 2F)
担当エリア: 鳥取県/島根県/岡山県/広島県/山口県/香川県/徳島県/愛媛県/高知県

九州・沖縄地区 TEL: 092 (481) 3911
九州営業所 FAX: 092 (481) 3930
〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵 3-28-5
担当エリア: 福岡県/佐賀県/長崎県/大分県/熊本県/宮崎県/鹿児島県/沖縄県

※本書に記載の内容は、製品の改良や仕様の変更などにより予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。